

# 2024年度(令和6年度)学校評価自己評価表

新市中央中学校区	校番 37	福山市立新市中央中学校
最終更新日		2024年(令和6年)4月12日

## I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

## II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	チャレンジ&チェンジする力、自己理解力、自己表現力
<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校も中学校も元気大賞や文部科学大臣表彰を受賞するなど、良く頑張っている。目指すところも良くわかる。良くやってもらっている。</li> <li>キャリア教育に様々に取り組みられ、子どもの生活の一部になったと思う。来年度に繋げて欲しい。</li> <li>各校とも、目標を立てて、地域と1つになって取り組まれていて素晴らしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校とも落ち着いた温かい雰囲気の中で、学び合ったり、教え合ったりする姿が多く見られている。</li> <li>全国調査質問紙の主体的・対話的で深い学びに関する項目の肯定的評価は5校とも良好である。</li> <li>体育委員会が企画・立案の体力づくりイベント等の実施により、「運動が好き」「進んで体力向上を図った」と答える子どもが増えている。</li> </ul>	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の目標達成に向けた計画を立て、取り組む児童生徒。そして、その取組を定期的に振り返り、改善策を考える児童生徒。</li> <li>自分の将来の夢や目標を持つ児童生徒。</li> <li>自分の思いや考えを相手に分かりやすく説明する児童生徒。</li> </ul>
		中学校区として統一した取組等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元事業者や地域の方と育成したい資質・能力を共有しながら、出前授業、探究学習、職場体験学習、面接など、様々に取り組んでいく。</li> </ul>

## III 自校

ミッション	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	チャレンジ&チェンジする力	自己理解力	自己表現力	
自分の夢の実現に向けてたくましく生きていく生徒、次代の新市や日本、世界を担う生徒を育成して、新市町の皆さんから応援される学校づくりを推し進める。	めざす子ども像	1年	活動を振り返り、改善策を考えることができる。	自分の将来の夢や目標を持つ。	自分の思いや考えを多様な表現方法を用いて説明することができる。
学校教育目標		2・3年	目標達成に向けて、より良い方法を考え取り組むことができる。 達成状況を振り返り、改善策を考えることができる。	自分の将来の夢や目標、生き方を考えることができる。	自分の思いや考えを、相手や場に応じて、分かりやすく説明することができる。
達成感・感動・郷土愛	現状	テーマ	ファシリテーター型の教師に挑戦し、「学びが面白い!」の更なる深化を目指す		
<p>&lt;生徒&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度全国学力・学習状況調査の国語、数学、英語の平均正答率は、それぞれ、62%、40%、37%で、すべて市平均を下回っている。令和5年度学力の伸びを把握する調査では、学力を伸ばした生徒の割合は、2年国語と3年英語で市平均を上回っている。</li> <li>「自分の夢や進路目標の実現に向けて、日々の学習や部活動、行事などで、目標や計画を立て、取り組んでいる」生徒78%、「目標の実現へに向けた計画や取組の達成状況を定期的に振り返り、改善策を考え、実行している」生徒80%、「自分の考えを、相手や場に応じた言葉遣いや多様な表現方法を用いて、分かりやすく説明することができる」生徒82%である。</li> </ul> <p>&lt;授業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「生徒主体の学びにむけた授業改善に挑戦している」教員96%、「個人のアクションプランを意識して授業改善に努めている」教員96%、「設定した『こだわりのある設問』を意識して授業を行っている」教員94%、「ファシリテーター型の教師に挑戦している」教員83%、「安心して発言できる雰囲気づくりを意識している」教員100%である。</li> <li>「教科の面白さを実感している」教員80%、「人はどのように学ぶか、何につまずくかについて関心を持ち、教材研究を行っている」教員90%、「自分が知らないことを生徒と一緒に考える時間が楽しい」教員90%である。</li> </ul>	研究	内容等	「温かい学級づくり」と「確かな教材研究のもと」、ファシリテーター型の教師となって、対話を通して課題を解決する授業づくりを進める。 (教材との対話・他者との対話・自己との対話)		
		めざす授業の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が安心して発言できる、温かい雰囲気の授業</li> <li>授業者が「引き出す」「広げる」「つなぐ」を大切にしている授業</li> <li>生徒が学び合い、探究し、学びを深めていく授業</li> </ul> <p>キーワード“教科の本質”“ワクワク”“生徒にゆだねる”</p>		

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立新市中央中学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	〇セ 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期/中期経営 目標の達成状況	〇セ 評価	達成 評価	総合 評価
1	子どもが学びに向かう力、学び続ける力、なりたいたい自分に向かう力を育成する。	★	継続	目標達成のための方法を考え、粘り強く取り組む子どもを育成する。 ＜チャレンジ&チェンジする力＞	・振り返りシート、キャリア・パスポート等を活用して、目標設定や改善策を考えさせる。 ・パフォーマンス課題を設定し、ことばや数、概念などをゆるやかに獲得させていく。	・振り返りをもとに改善策を考えている」生徒80%以上 ・「ことばや数、概念を獲得していくためのパフォーマンス課題を設定している」教員85%以上								
			新規	将来の夢や目標の実現に向けて、自己理解を深め、自分の思いや考えを分かりやすく説明できる子どもを育成する。 ＜自己理解力&自己表現力＞	・地域や地元企業と連携するなど、実社会とのつながりを意識した単元開発を行い、学ぶことの意義を実感させていく。 ・授業や行事等を中心に、表現活動に挑戦する機会を様々な設定する。	・「日々の学習活動は、自分の夢や目標・生き方を考えることに繋がっている」生徒75%以上 ・「自分の思いや考えを、相手や場に応じて分かりやすく説明している」生徒80%以上								
	自分の夢や目標、自分がやりたいことなどについて、自分で「考える、選ぶ、決める」力を育成する。	★	新規	教職員が生徒一人一人の学びの姿を大切にされた教育活動を実践する。	・生徒が方法を決めて課題解決に取り組んだり、議論したりするような場面を設定する。 ・生徒及び保護者の状況を丁寧に把握及びチームで協議し必要な支援を行う。	・「自分が考える、選ぶ、決めることを大切にしている」生徒80%以上 ・新規長期欠席者の出現率を減少(現状3.7%) ※新規長期欠席者・小学校1学年から現在までで初めて欠席が30日以上した生徒								
4	教職員が元気・笑顔で勤務できる環境を充実する。		継続	教職員が実践力を高めるとともに、やりがいや充実感を持って教育活動を行う。	・教職員が、自身の資質向上に係る目標・方策を設定し、取り組む。 ・相互参観授業により、互いの良さ認め合う。	・「仕事にやりがいがある」教職員85%以上 ・「自分の仕事が認められている」教職員85%以上								

[プロセス評価の評価基準]

[達成評価の評価基準]

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。